第４号様式（要綱第６条関係）

2026年度　第２回　藤沢市立片瀬小学校 学校運営協議会会議録

開催日時　2026年　７月 ８日（水）10時～
場　所　　片瀬市民センター第３談話室

出席委員	松本　眞理子（会長・片瀬地区主任児童委員） 池田　亜津子（副会長・片瀬小学校校長） 渡邊　智恵子（片瀬地区青少年支援フォーラム会長） 長谷部　由起（片瀬地区青少年支援フォーラム） 長坂　訓子　（片瀬地区青少年支援フォーラム） 石渡　裕司　（元小学校長） 中原　孝太郎（東京都片瀬学園園長） 吉村　輝彦　（片瀬市民センター長） 星　　薫　　（片瀬市民センター職員） 杉下　由輝　（片瀬こま保存会事務局長） 矢野　佳代子（片瀬地区CSW） 以上11名出席（欠席３名） 傍聴人　なし
次第	１　開会 ２　会長あいさつ ３　議題 （１）学校の近況について （２）１学期の取り組みについて ・人的支援（プール掃除、水泳学習監視、行事見守り引率、低学年懇談会時見守り、裁縫サポート　学校公開日受付　他） ・ひだまり教室（学習支援）等 （３）２学期に向けて　家庭科ミシンサポート 運動会受付及び巡回パトロールを依頼予定 （４）その他　連絡事項 ４　閉会
	＊３（１）（２）について ・池田副会長より説明 ・長坂委員より１学期の支援について説明 （池田副会長）水泳監視については、支援していただいているライフセーバーさんから、次年度は保護者向け講習会を行うことで、監視メンバーを増やせないか、との提案をいただき、検討する予定。 （長谷部委員）今年度、保護者で新たに監視を受けてくださる方を依頼できた。これからも、保護者の中でライフセーバーの経験者や安全を守る仕事をしている方などに声かけをしていきたい。 （松本会長）ひだまり教室に、不登校児童が見学に来た。一人ずつのケアをしながら進めたい。

（中原）片瀬学園も片瀬小お助けサポート隊に加入した。可能な範囲で協力したい。学園の児童や、転入（入所）について、学校と相談しながら進めている。地域からたくさんの支援を受けており、たいへんありがたい。

（矢野）特性のあるお子さんについて

保護者も含めてのサポートが必要なことが多く、学校や児童相談所で対応するのも難しいことがある。地域としてのサポートができるとよい。

（３）について

・池田副会長より説明

（長坂委員）ミシン支援は、楽しみにしている地域の方が多い。お裁縫のときよりも、人数を増やして対応したい。

（渡邊委員）運動会感想のまとめについて。競い合う、勝敗をつけることもよいのでは。リレーで輝ける子もいる。

（長谷部委員）中学校で色別に競い、勝敗を決めることを楽しめた子もいれば、小学校での経験がなく、苦痛になった子もいたようだ。

（杉下委員）こまの大会では、負けて泣く子が必ずいる。１回勝負で、もう１回は絶対にしない。勝負の経験不足を感じる。地域でも様々な分野で競い合う経験をさせたいところだ。

（石渡委員）先生たち・子どもたちにとって、達成感のある運動会になればと思う。

（吉村委員）

防災の取り組みについて。

４月から、２回の台風や津波警報もあり、片瀬市民センターでも様々な想定をして、検討をしているところ。

いざというときに、片瀬小児童が片瀬中避難をするとのことだが、受け入れ側のキャパはどうなのか。

市民センターに危険が迫ったときは、防災本部を片瀬小に置くことになっている。

災害の状況で、どう対応していくか、学校と協力していきたい。

（池田副会長）片瀬中への避難について、一度訓練をしたいと考えていたが、まずは状況の整理が必要のようだ。

（杉下委員）ペーパーティーチャーについて、同窓会組織をうまく利用して片瀬地区で先生の仕事ができるように呼びかけられないか、と考えている。

４閉会

次回開催予定　2026 年　10 月 13 日（火）10 時

〜

場　所　片瀬小学校　みんなの教室